

JSAF 外洋計測委員会 議事報告

開催日時：2021 年 9 月 27 日

参加者：川合 紀行 中村 和哉 角 晴彦 水越 英次
畠山 知己 高野 佳雄 三浦 信郎 船澤 泰隆
上阪 和功 松田 周平 本吉 夏樹 荒川 海彦

1.メンバー紹介

JSAF 外洋計測委員会 名簿 2021 による。

2.委員長変更の経緯

吉田さんが外洋計測委員長の時代に ORC を JSAF に編入して IRC/ORC の 2 つのクラスを JSAF のレーティングとして採用した。開始時 ORC は収支が合わない状態が続いており、3 年以内に黒字化を予定していたが、普及率の面で達成することができなかった。その後、IRC・ORC を 1 つの委員会として進めていくために、委員長が八木さんに代わり黒字化を目指したが改善せず、予算編成も非常に難しい状況になり、本部より事態の改善を求められた。そのため今回再編し、0 スタートでリセットして改善を目指す

3.外洋計測委員会 目的・方針の説明があった

質疑応答：国内フリートを最大限にするためクラスを選択し普及させるとは？

クラスを選択することのメリット

- 公式レーティングが 1 つになることにより参加艇が分散することなく大きなフリートになる。
- 予算の健全化につながる
- 現時点で登録艇が減少し、公式レーティングを取得する艇も減少している状況ではすでに普及されているレーティングを選択することで大多数のユーザーは現状のままレースに参加することができる。逆に普及率の低いレーティングを採用すると、大多数のユーザーに新たな負担が発生するため現実的ではない。
- 窓口業務・レーティングオフィス業務も 1 本になりスムーズな運営が可能になる。

デメリット

- 現時点で利用しているユーザーの切り捨てになり、ユーザーの減少につながる可能性がある。
- 技術的な面での継承がなくなり、海外レース等で必要な艇へのサービスが低下する。

外洋計測としては、現在普及しているレーティングを選択しフリートの拡大を目指すとともに予算の健全化を行う。

また問題点として、どちらのレーティングを選ぶかではなく、どちらのレーティングも選ばないという選択が増えて、フリートが小さくなってしまっているということがあげられ、全体の普及活動（雑誌ライター等の参加含め）検討が必要。

4.副委員長・事務局の選出が行われた。

副委員長：上坂和功さん

委員長のサポートとして、委員長との会議出席調整、予算・会議資料のチェック等

事務局：長谷川淳さんへ委託を依頼する。

レースファイル等のレース運営に関する情報等の発信については従来通りのペースで実施していただけるよう。また現状を把握していただける方のため。

5.オブザーバーについて

IRC オーナーズ協会：永松さん、IRC データ管理：富川さん、前外洋計測委員長
PHRF：八木さん等に入っていただく。JSAF への名簿提出の必要がないため、適時担当していただく。

6.ホームページについて

変更できる部分は今回打ち合わせをもって変更を進める。

7.外洋合同委員会

2022 年 2 月 5 日 土曜日の午後に行う。

今後合同委員会事務局等の立ち上げが必要。

8.連絡方法について

Slack を使用して進めることとなった。

1 本化が望ましい意見があったので、Slack が最適ではないかとの結論。

9.目的・方針の10について

10) 外洋レースの安全性を担保するために、関連委員会と連帯し、事故調査を実施する。

外洋計測委員会内に技術小委員会が残っているが、業務内容的に外洋計測委員会内に属すべきかどうかを考えたい。内容的には安全委員会やその他委員会とも関連するため、外洋常任委員会内の独立した業務(調査委員会)としてその状況に合わせてメンバーを集めて対応することが良いのではないか？等の意見があった。

外洋計測委員会業務には残すが、関係委員会との連携も簡単に行えるよう検討を進める。